

ゆ り い か
EUREKA

■親子で楽しめる!!



★ちよっただけまいご
作/クリス・ホートン

巣からおちて、まいごになったちびフクロウ。落ちた先でお人よしのリスに出会い一緒にママを探すことに... 「で?きみのかあちゃんはどうなかんじ?」「ぼくのママはね、すごーくおおきいんだ。こーんなに」ちびフクロウのジェスチャーをヒントにママを探しますが...

独特な色合いのゆるめのイラストが魅力の絵本で、小さなお子さんの一人読み最初の絵本にもピッタリな作品です♪



★ゆめぎんこう
作/コンドウアキ

夢のアメを売買する不思議なお店を営んでいるこわがりの店主ペンペンと、夢を食べるもぐもぐ。ある日、夢を取りに来てほしいと依頼があって...。登場する色とりどりのアメがおいしそうでついつい食べてしまいたくなる作品です。やさしいイラストが特徴的で登場するキャラクターが可愛く、物語も心がほんわかあたたまる内容になっていてリラックマの原作者コンドウアキが贈る、優しさあふれる夢がテーマの絵本となっています。大切な人を思い出させてくれる作品です♪

■コンドウアキ作の他作品



■高学年にオススメの児童書★



■トクベツな日 作/白矢三恵

それぞれ人には言えない悩みを持つ小学5年生のクラスメイト4人。それぞれが悩みを抱えながら一人暮らしのお年寄りを学校に招き、児童と一緒に給食を食べてもらうという学年行事が行われた。4人にとって、今日は新しい自分に出会う「トクベツな日」に……。認知症って病気は大好きなおばあちゃんを別人に変えちゃうんだ。認知症の祖母との暮らしに悩む転校生の少女を中心にそれぞれ悩みを抱えた少年少女たちの心の成長の物語。4人共に家族に関わる悩みを持ち、小学5年生という多感な少年少女達が自らの悩みに苦しみ、悲しみつつも悩みを乗り越え成長する姿を描いた作品です。それぞれの悩みは決して軽いものではないけれど、そっと寄り添い、励ましてくれるような優しい作品です。

■白矢三恵作の他作品



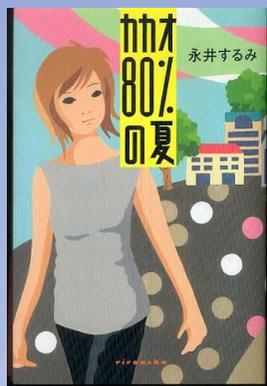
■クラーケンの島 作/エヴァ・イボットソン

「おまえさんたちは誘拐されたわけじゃない。選ばれたんだ」あやしい「おばさん」たちにさらわれた子どもたちがつれてこられたのは、伝説の生きものたちの島だった。誘拐された3人の子供たちはそれらの生き物の世話をしながら自分たちがなぜ誘拐されたのかを考える。おばさんたちの思惑とは…なぜこの島には伝説の生き物たちが集まり、おばさんたちはそれらを世話しているのか…。そんなある日、島にクラーケンがやってきて…。純粋な子どもたちの夢のような物語。自分勝手な大人たちから色々な理由で縛られていた子供たちは「おばさんたち」にさらわれ、様々な伝説の生き物たちの世話をすることで現代的なリアルな考えからイマジナリティあふれる自由な考えに代わっていく。作者のウィットあふれる語りの魅力がいきいきと発揮されたファンタジー作品です♪

■エヴァ・イボットソン作の他作品



■ワクワクする！！YA★



■カカオ 80%の夏 著/永井するみ

夏休みにクラスメートの雪絵が、書き置きを残して姿を消した。おとなしくて、ボランティアに打ち込むマジメな雪絵がいったいどうして…？雪絵の母に頼まれて色々調べていく中でとある事件にまきこまれて…。ネットで知り合った高校生、ボランティア会場にいる老婦人、雪絵の知り合いを調べていっても雪絵がまじめで違う自分になりたかったただの女子高生だということしかわからない。雪絵は何故キャラも全然違う私の服を欲しがっていたのか…いったいどうして誰にも何も言わずに書き置きだけして家出をしたのか。高校生の大人になり切らない未熟な思考とそんな高校生たちを取り巻く大人との人間関係を描いたミステリー作品です♪

■永井するみ著の他作品



■妖怪アパートの幽雅な日常 作/香月日輪

自称除霊師の女子高生、人間かどうかも妖しい骨董屋、手首だけの賄いさん。十三歳で両親を失った俺が高校進学と同時に入居したのは人呼んで“妖怪アパート”！次々と目の当たりにする非日常を前に、俺の今までの常識と知識は砕け散る。両親を失い親戚に引き取られたけどずっと自分の居場所を感じられず、心に深い傷を負っていた夕土。最初は気味悪がっていたアパートの人間や妖たちとの出会いと暮らしで人間としての考え方や生き方を学び、妖たちの自由で暖かい性格が自分の居場所をつくってくれる。人間と人ならざる者たちの日常ファンタジーです♪

■齊藤洋作の他作品



■ オススメ一般書

■ むかしむかしあるところに、死体がありました。 著/青柳碧人

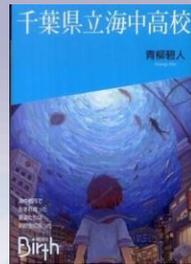


登場人物は誰もが1度は聞いたことのある昔話の主人公たち。その主人公たちが織りなす全く別のミステリー作品！一寸法師の妖しい計画や、はなさかじいさんを殺した犯人とは…？

その他にも竜宮城へ行った浦島は殺魚事件！？にまきこまれたり…主人公

から主人公を取り巻く周りの登場人物の様々な証言が事件をより難解なものにしていく…はたして犯人は誰なのか…。昔話を基にした短い5つのお話がまとめられている作品です。昔話では描かれない人間の欲や野望といった少し汚い部分を描いた先の読めないミステリー作品となっています。一度読んだらもう一度、本当の昔話が読みたくなる…一話一話が短く、スピード感のある作品なので普段本を読まない方でもすらすらとよめてしまう作品です♪

■ 青柳碧人著の他作品



■ 彼女の背中を押したのは 著/宮西真冬

『妹がビルから飛び降りた』という衝撃の展開から始まる姉妹の葛藤と絆を描いた作品です。結婚と同時に上京した姉・梢子の元に妹から半年ぶりのメールが来た。相談したいことがあると…。妹がビルから飛び降りた真相を探るため、梢子は地元に戻り妹の同僚たちに会いに行く。梢子が思っていた妹は不安定な元引きこもり。要領が悪くてできる人間ではないが見た目が可愛い。だけど妹の周りの人から聞く妹の印象は違って…。一番近くで育ってきたはずの姉妹ですら少しあっていないとわからない部分がたくさん出てくる。梢子が思っていたより妹はしっかりと成長して…。じゃあなぜ妹はビルから飛び降りたのか…？書店という職場を舞台に人間関係がだんだんと拗れ纏れていく。現代のハラスメントにも着目したりアリティ作品です。

■ 宮西真冬著の他作品

